産学官によるスポーツDXで熊谷を日本一アツいスマートシティへ
～AI技術で誰もがデータ分析にチャレンジできる街に～

スポまち！表彰2025
埼玉県熊谷市

＜目標＞　　**計画期間：**～令和　10年　9月　30日

1. 誰もがアクセスできる、スポーツデータ分析環境の提供／データ分析人材の育成
2. データに基づいた地域スポーツ強化／指導現場のDX
3. スポーツ施設DXによる施設価値・住民満足度の向上
4. 熊谷スポーツコミッションとの連携による地域内外へのPR・合宿誘致

★AIカメラ利用者数　50件以上（R8.9末）　★配信ページ閲覧回数　500回以上（R8.9末）



＜ＰＲポイント＞

・誰もが自分たちのスポーツ映像データを簡単に記録・分析できる環境を提供
…熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」に自動で試合や練習の映像を記録できるAIカメラを導入

・産学官五者での共同研究を開始
…施策のモデルケースとして市内チームの戦術強化と、地域の学生を中心としたデータ分析人材の育成に関する調査を実施

＜現状・課題＞

・ラグビーワールドカップ2019™の開催地となるなど「スポーツ熱中都市宣言」を掲げ、スポーツ（ラグビー）によるまちづくりを実践している。スポーツ施設を軸に市民の積極的なスポーツ参加の推進施策が求められている。

・「デジタルと人の力で、社会を前に進めていく」まちづくりを方針とするスマートシティ施策を掲げ、重点的に取り組む分野の1つとしてスポーツ・健康分野を掲げているが、市民を巻き込む持続的な具体施策を必要としていた。

＜総合的な取組内容＞

熊谷市スポーツ・文化村「くまぴあ」にスポーツ自動撮影AIカメラを導入



誰もが自分たちのスポーツ映像データを簡単に記録・分析できる環境を提供

産学官五者連携での研究をスタート



市内社会人サッカーチームの試合映像を地域の大学生アナリストがデータ分析しフィードバック
→戦術強化に活用

市内のデータ分析人材を育成・スポーツで熊谷スマートシティを推進
資源を活用した交流人口の増加



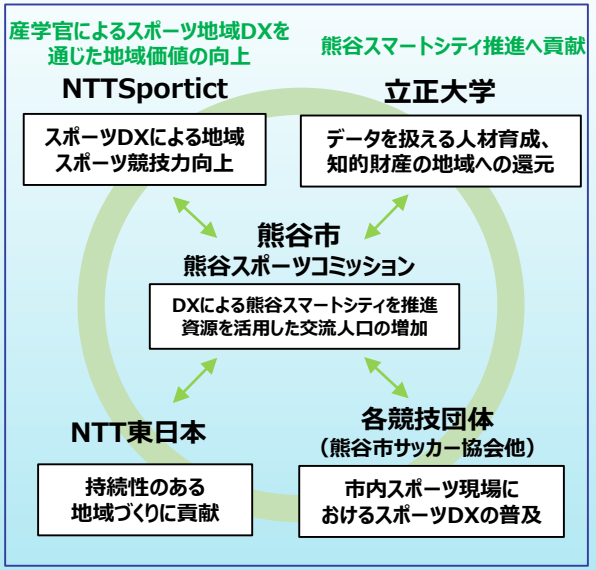


KUMAGAYA SPORTS COMMISSION

①他競技・チームの利用拡大→「スポーツ×デジタル」で新たなサービスの提供
②データ分析人材の教育育成→地域コミュニティ、キャリア形成へも発展
③PR・合宿誘致に接続
→大規模大会、合宿誘致数の拡大。新規団体へのアプローチが可能。

【フォローアップ欄】令和7年度以降における計画の進捗状況

＜継続的な取組を確保できる体制（図）＞



＜セルフチェックシート＞



問合せ先・電話番号
熊谷市総合政策部スポーツタウン推進課
電話：048-524-1135（直通）